

第1・2学年 算数科学習指導案

日 時 平成30年11月14日（金）5校時
児 童 枝幸町立山臼小学校
第1学年 1名
第2学年 1名 計2名
授業者 教諭 ○○ ○○

第1学年

1 単元名

「ひきざん」

2 単元について

これまでに、「のこりはいくつ」、「どれだけおおい」では減法の意味（求残，求差）と，1位数－1位数，10－1位数の減法の計算を学習してきた。そして「たしざん」では，1位数＋1位数で繰り上がりのある加法を指導した。

これらをもとに，本単元では1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の逆の減法である，繰り下がりのある何十－1位数の減法を学習する。十何－1位数で繰り下がりのある減法では，減加法や減減法といった方法で減数を取り去り，残りの数を求めるという計算のしかたに気づかせることになる。

本単元の内容も繰り上がりのある加法と同様，今後の減法の基礎となる計算なので，十分な理解と習熟を図っておかなければならない重要な学習である。子どもにと減法のほうが加法よりも計算の速さ，正確さが劣り，難しく感じるものであるので，練習方法を工夫し確実に身につくようにしたい。

ブロックなどの半具体物を用いたり，言葉や式や図などを使ったりして考えることができるようにする。更にそれらを使って自分の考えを説明できるようにする。

3 児童の実態…省略

第2学年

1 単元名

「かけ算九九づくり」

2 単元について

前単元では，乗法の意味や式，答えの求め方について理解を図るとともに，5の段，2の段，3の段，4の段の九九を構成し，それを使った問題解決や問題作りもさせてきた。また，その範囲の九九について表にまとめることも扱い，交換法則などの決まりにも着目させた。

本単元では，これらの既習事項をふまえ，同数累加としての乗法の意味をもとにしたり，乗数が1増えると積は被乗数と同じ数だけ増えることをもとにしたりして，6の段，7の段，8の段，9の段，1の段の九九を子ども達自身で構成していく。九九は，これから学習する乗法や除法の計算などの基礎となる内容であるので，その意味をしっかりと理解し，かつ，技能として定着できるようにすることが重要である。九九の構成の学習が終了しても，練習の機会を繰返し設けたり，ゲームにして取り上げたりするなど，継続的な取り組みによって習熟を図っていききたい。

また，九九を完成したあと，連続量の場面と関連させて，「いくつ分」を「何倍」として捉えることも指導する。倍概念は，本単元の指導に始まり，以降の学年で段階的に理解を深めていく。図の表現とも結びつけながら，実感を伴った理解がされるように工夫したい。

3 児童の実態…省略

4 単元の評価規準

<第1学年>

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技 能	知識・理解
・繰り下がりのある減法計算のしかたを考えようとしている。	・十何—1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを、ブロックや言葉、数、式、図を用いて考えている。	・十何—1位数で繰り下がりのある減法計算が確実にできる。	・繰り下がりのある減法の意味や計算のしかたを理解している。

<第2学年>

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技 能	知識・理解
・乗法について成り立つ性質やきまりを見つけ、進んで九九を構成しようとしている。	・乗数と積の関係、交換法則などをもとに九九の構成のしかたを考えている。	・6, 7, 8, 9, 1の段の九九を確実に唱えることができる。	・式に表したり、式を読み取ったりすることをおして、乗法が用いられる場面の数量の関係について理解している。(6, 7, 8, 9, 1の段) ・倍はかけ算の式で表わされることを理解している。

5 単元指導計画

<第1学年> (11時間 本時 4/11)

時数	学習活動	言語活動	評価方法
1	○減法の作問をして、既習の計算とそうでない計算があることに気づく。	※絵を見て、減法の問題を作る。	ノート・発言 (関心)
2	○12－9の計算のしかたを考え、十何—1位数で繰り下がりのある減法の計算のしかたを理解する。(減加法)	※タイルを動かしながら、計算のしかたを説明する。	ノート・発言・確認問題 (考え・知識)
3	○12－3の計算のしかたを考え、十何—1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを理解する。(減減法)	※タイルを動かしながら、計算のしかたを説明する。	ノート・発言・確認問題 (考え・知識)
4 (本時)	○十何—1位数で繰り下がりのある文章問題を解いたり、作問をしたりする。	※考えをノートにまとめる。	ノート・発言 (技術)
5	○計算カードを使って、十何—1位数の繰り下がりのある減法計算に習熟する。	※ひき算のカードを声に出して計算する。	カード・発言 (技術)
6	○同じ答えのある減の式を見つけて順序よく並べることをとおして、被減数や減数の変化のきまりに気づく。	※どのようにカードを並べたか考えを説明する。	カード・発言 (考え・技術)
7			
8			
9			
10			
11	○まとめ		

<第2学年> (8時間 本時 15/17)

時数	学習活動	言語活動	評価方法
1	○九九づくりの図を用いて6の段の九九の構成をすることができる。	※6の段を見て気づいたことを発表する。	発言・ノート (考え)
2	○6の段の九九を暗唱し、文章問題に取り組む。	※九九カードを使って練習する。	ノート・発言・確認問題 (技能)
3	○九九づくりの図を用いて7の段の九九の構成をすることができる。	※7の段を見て気づいたことを発表する。	発言・ノート (考え)
4	○7の段の九九を暗唱し、文章問題に取り組む。	※九九カードを使って練習する。	ノート・発言・確認問題 (技能)
5	○文章問題を見て、8の段の九九を構成することができる。	※8×4の答えの求め方を考える。	ノート・発言 (考え)
6	○8の段の九九を暗唱し、文章問題に取り組む。	※九九カードを使って練習する。	ノート・発言・確認問題 (技能)
7	○文章問題を見て、9の段の九九を構成することができる。	※9×4の答えの求め方を考える。	ノート・発言 (考え)
8	○9の段の九九を暗唱し、文章問題に取り組む。	※九九カードを使って練習する。	ノート・発言・確認問題 (技能)
9	○文章問題を見て、1の段の九九を構成することができる。	※1×5の答えの求め方を考える。	ノート・発言 (考え)
10	○4cmの2つ分の長さを求めることをとおして、倍概念の基礎を理解する。	※テープを使いながら、考えを説明する。	ノート・発言・確認問題 (知識・技能)
11	○箱に整列して入ったゼリーの数をいろいろな式や図で表す。	※1つの数の求め方を九九を使って多様に考える。	ノート・発言・確認問題 (考え)
12	○箱に入ったチョコレート数を求めることをとおして、九九ができるように分割したり、移動したりする求め方と考える。	※九九が適用できるように分割したり、移動したりするなどの工夫を考えている。	ノート・発言・確認問題 (考え)
13	○まとめ		

6 本時について

(1) 本時の目標					(1) 本時の目標				
○十何一1位数で繰り下がりのある減法計算の仕方を理解する。					○1つの数の求め方を九九を使って多様に考えることができる。				
(2) 本時の展開									
第1学年 4/11					第2学年 15/17				
段階	学習内容 ・学習活動 ※言語活動	教師の働きかけ ●発問 ★評価 ※言語活動			学習内容 ・学習活動 ※言語活動	段階			
つかむ5分	・107ページの絵を見て、まだ解決していない問題を確認する。 「あひるの問題だ！」 課題 12-3の計算のしかたを考えよう。	●解決していない問題はどれかな。 【仮説1-①】問題課題提示の工夫。			・100ます計算 ・復習問題	ふりかえる5分			
	・タイルを動かしながら、ノートに自分の考えをまとめる。 <予想される考え> 12は10と2。 10-3=7 2+7=9 だから12-3=9 ひきだし算でできる。 ・自分の考えを発表する。 ・けんじくんの考えを見せて、どのように計算したのかを考えさせる。 3は2と1。 12-2は10。 10-1は9。 だから12-3=9 「10じゃなくて、3をわけている。」 「全部ひき算をしている。」	【仮説3-①】話し合いや交流場面の工夫。 「2つの計算で違うところはどこかな。」			●普段かけ算を使う時はどんな時かな。 【仮説1-①】 ・求め方は1つではないことを伝える。 ・かけ算を日常で使う場面を考えさせる。 「たくさんの数を、数える時。」 ・ゼリーの絵を見せる。 問題 ゼリーは何こあるでしょう。 ・本時の課題を確認する。 課題 いろいろなもとめ方で考えよう。 ・見通しをもつ。	つかむ5分			
考える15分		同時間接			・ワークシートを使って、ゼリーの個数を求める式を考える。 <予想される考え> ・4×6（縦に4横に6） ・6×4（横に6縦に4） ・8×3（同じ果物が3種類）	考える20分			
まとめる15分	まとめ ひき算は、ひきひき算の計算でもできる。	★十何一1位数で繰り下がりのある減法計算の仕方を理解する。			・ヒントカードを用意しておく。 ★多様な求め方を考えることができる。				

ふりかえる 10分	・確認問題 	【仮2ー①】 学習シートの工夫。 類似した問題をプリントで用意する。	●考えを発表しよう。 ・みきさんの考えが出なかった場合は、取り上げる。 【仮3ー①】 話し合いや交流場面の工夫。 【仮2ー①】 確認問題で学習を振り返る。	・考えを発表する。 ・みきさんの分け方を見て、どのように計算したかを考えて発表する。 まとめ 答えが同じでも、いろいろな求め方がある。 ・確認問題	まとめる 15分
--------------	---------------	--	--	---	-------------

- (3) 評価

○十何ー1位数で繰り下がりのある減法計算の仕方を理解できたか。
- (3) 評価

○1つの数の求め方を九九を使って多様に考えることができたか。

<第1学年>（側面黑板）

教科書の挿絵

① 12-3のけいさんのしかたを 2つかんがえよう。

12-3
 12は10と2。
 10-3は7。
 7+2=9
 だから12-3=9

タ
イ
ル

けんじくんの考え

12-3
 3は1と2。
 12-2=10
 10-1=9
 だから12-3=9

ちがうところ
 ・10ではなく、3をわけている。
 ・ぜんぶひき算している。

② ひきざんは、ひきひきざんのけいさんでもできる。

<第2学年>（正面黑板）

ゼリー イラスト

もんだい
 ゼリーは何こあるでしょう。

かだい
 いろいろなもとめ方で 考えよう。

<考え>

答え

まとめ
 こたえが同じでも いろいろなもとめ方がある。

